

2021年度臨床研修プログラム

(令和3年度)

社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院

初期臨床研修医：

- 研修手帳は各科の研修終了後、その都度臨床研修部に提出し進捗状況を報告して下さい。 尚、これ以外でも臨時で提出を求めることがあります。

提出日	研修科	受領 (臨床研修センター)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		

序 説

川崎幸病院は、地域医療の要である救急医療と、それを支える高度医療を主とした急性期病院です。1973年に開院して以来、地域医療に従事してきましたが、老朽化、狭隘化が進み、2012年6月にJR川崎駅近くに新築移転し、最新で重装備の医療機器とスタッフ体制を用意しました。

遡ること1998年に、一般/総合外来部門を川崎幸クリニックとして分離独立。これにより病院の外来は主に救急外来として機能します。救急はいわゆる北米型ERで、初療は救急部が行い、2019年度は年間8,625台の救急車を受け入れており、更なる増加が見込まれます。

ERの機能を十分発揮させるには、初療を行う救急・総合診療部の支援を行える各科の体制が必要です。消化器内科、循環器内科、外科、脳神経外科、大動脈センターの医師を常時配置しています。2002年以降、院内の特に急性期・高度医療の部門を、脳血管・心臓病・大動脈・消化器病の各センターに順次再編。これらの疾患については救命センターや大学病院と同等レベルの迅速な受入と高度専門診療が可能です。更に、2010年には泌尿器科レーザー治療センター(2017年4月泌尿器・内視鏡治療センターへ改称)を、2012年夏には放射線治療センターも開設、2017年には低侵襲手術センター、がん治療センターを開設し2019年には関節外科センターを開設し、大動脈センターと心臓病センターを再編成しましたが、2019年11月より整形外科・関節外科センターは、新東京石心会さいわい鶴見病院へ移転いたしました。

旧病院の入院病床数は203床でしたが、新病院では病床数が265床と増床。更に川崎市重症患者救急対応病院としての指定を受け61床を増床、現在326床にて運用しています。

地域の医療機関との連携は、1995年に開放型病院の承認を受け、2017年2月末現在登録医療機関数は606施設となっており、地域完結型の医療を目指しています。2013年3月には地域医療支援病院の承認を受け、益々地域の期待とそれに対する責任が求められています。

一方、慢性期疾患については、川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニックの担当とし、訪問看護・在宅医療への支援システムを構築して幅広いニーズに応えています。

尚、2000年に日本医療機能評価機構の認定を取得済みです。

以上の様に、地域医療の要是救急であり、それを支える高度医療とともにあると考えます。川崎幸病院での急性期医療と高度医療、離島や在宅での地域医療研修を通じ、これから地域医療のあり方を学べる土壤がここにあります。

研修医枠は8名であり、1名あたりの症例数は圧倒的。夜間休日でも常に10名程度の医師が勤務しており、指導体制も整っています。

最近の医学・医療の進歩はめざましく、患者さんのニーズも多様化、複雑化、高度化してきました。臨床医の専門性も必然的に要求されますが、医学的知識・技術だけでなく医師として資質や人間性をも厳しく評価されるものと思われます。

そのような観点から、初期臨床研修の目標は、基礎的臨床能力の養成に主眼を置いています。すなわち、プライマリケアと救急医療を通して幅の広い基本的診療の科学的思考・技術を経験するとともに、患者さん及びその家族に接する基本的なマナーを学び、診療内容の十分な説明と理解と同意の基により良い信頼関係を構築できる訓練を積むこと。そしてコメディカルをはじめとする同僚の医療スタッフとの共同作業でより良いチーム医療が実践できる人間関係構築の必要性を学ぶこと。

更に医療経済・医療行政・医療制度や保険・福祉の仕組みなどを正しく理解する事も必要と考えられます。

川崎幸病院は、臨床医を目指す諸氏にとって必要なインフラの宝庫であります。

又、当院には臨床医を育てようとする熱意が満ちあふれています。

一人でも多くの研修医が当院の門を叩かれん事を祈ります。

目 次

■表紙	・・・ 1
■序説	・・・ 4
■目次	・・・ 5
■臨床研修プログラム	・・・ 7-25
1. プログラム名称	
2. プログラムの目的と特徴	
3. プログラム責任者と参加施設の概要/指導医一覧	
4. プログラムの管理運営体制	
5. 募集定員	
6. 教育課程	
7. 研修評価-到達目標の達成度評価-	
8. プログラム修了認定	
9. プログラム修了後のコース	
10. 研修医の待遇	
11. 募集要項	
12. 研修管理委員会構成員	
■病院概要	・・・ 26-32
1. 所在地	
2. 所轄保健所名	
3. 交通機関	
4. 病床数	
5. 標榜診療科	
6. 特色	
7. 施設の概要	
8. 主要医療圏の状況	
9. 診療実績	
10. 医療研修施設認定	
11. 財団法人日本医療機能評価機構認定	
12. 関係連携病院	
13. 設備	
14. 主要機器	
15. 職員数	
■臨床研修プログラム（全般）	・・・ 33-37
1. 目的	
2. 年間研修計画	
3. 主な研修内容	
4. 研修医の配置など	

■臨床研修プログラム（診療科別）	38-56
I. 臨床研修の到達目標	• • •
II. 経験目標	• • •
III. 実務研修の方略	• • •
IV. 経験すべき診察法・検査・手技	• • •
V. 経験すべき症例チェックリスト -29症候-	• • •
VI. 経験すべき疾病・病態チェックリスト26疾病・病態	• • •
VII. 経験が求められる疾患・病態	• • •
VIII. 特定の医療現場の経験	• • •
研修までに提出すべきレポート一覧	• • •
 〈研修科目〉	57-180
★※ 内科	• • •
★※ 救急 (救急・総合診療部・放射線・感染症)	• • •
★ 地域医療 (川崎幸クリニック) (薩摩川内市下甑手打診療所) (名瀬徳洲会病院)	• • • • • • • • •
★※ 外科 (形成・婦人科)	• • •
★※ 麻酔	• • •
★※ 精神科 (栗田病院) (福井記念病院) (都立松沢病院) (日本医科大学附属病院)	• • • • • • • • • • • •
★※ 小児科 (日本医科大学武藏小杉病院) (済生会横浜市東部病院) (福島県立医科大学附属病院) (国際医療福祉大学熱海病院) (新百合ヶ丘総合病院) (横浜旭中央総合病院)	• • • • • • • • • • • • • • • • • •
★※ 産婦人科 (日本医科大学武藏小杉病院) (福島県立医科大学附属病院) (総合守谷第一病院) (伊東市民病院) (武藏野赤十字病院) (新百合ヶ丘総合病院)	• • • • • • • • • • • • • • • • • •
※ 救急科 (日本医科大学千葉北総病院)	• • •
※ 保健・医療行政 (幸正の苑)	• • •
(★必修、※選択)	
 ■川崎幸病院臨床研修規程	181
■川崎幸病院 初期臨床研修 内規	186

社会医療法人財団石心会川崎幸病院臨床研修プログラム

1. プログラムの名称

川崎幸病院臨床研修プログラム

2. プログラムの目的と特徴

1) 目的

厚労省の示す臨床研修の目標に鑑み、本プログラムは将来、プライマリケアに対処しうる第一線の臨床医の育成、あるいは高度の専門医のいずれを目指すにも必要な診療に関する基本的な知識・技能および態度の習得のため、定められた経験目標に到達することを目的とする。

2) 特徴

川崎幸病院は一般外来を分離し救急外来を主とした急性期病院であり、各科研修での救急症例も豊富です。この救急症例を豊富に経験でき、更には総合内科的知識を習得し医学に一番必要な情報を教育すべく、臨床推論を行う基本的な診断学の習得ができる環境を整え行当院プログラムの特色となっています。

本プログラムは1年～2年次に内科研修・外科研修・救急科研修・麻酔科研修・放射線科研修を必修で行うと共に2年間を通じて救急当直を行い、充分な症例を経験します。2年次の地域医療(4週)は3施設(離島研修・在宅等)から選択して行います。また、精神科研修・小児科研修・産婦人科研修は2年次の必修とし、複数の協力型病院から各自選択して行います。選択科目は、内科系・外科系・救急・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療から選択することができます。内科系、外科系、救急の各基礎を徹底的に研修し、しっかりと基礎を築くことにより後期研修へスムーズに繋げることを重視したプログラムです。

川崎幸病院は地域の救急診療の拠点であることから、救急研修は2年間の研修期間のほぼ全般を通して行い、急性期医療の実践に必要な各診療科の連携やチーム医療の重要性、患者と医師との関係を同時に経験することができます。

臨床研修センターが設置されており、院内での職員として医師としての学習を含め研修進捗をサポートします。臨床研修センター部長とプログラム責任者との話し合いの中で、常に個別に研修プログラムの検討を行い、研修医の能力・個性・本人の将来へのビジョン・研修達成度によって、柔軟性のある対応を行います。

臨床研修プログラム修了後、希望者については専門医研修への参加も可能です。

3. プログラム責任者と参加施設の概要 / 指導医一覧

- 1) 臨床研修プログラム責任者 根本 隆章 (祐トカズ)
- 2) 研修施設とその所在地石心会川崎幸病院については病院概要を参照のこと

【地域医療】

■ 社会医療法人財団石心会 川崎幸クリニック	所在地 : 神奈川県川崎市
■ 薩摩川内市下甑手打診療所	所在地 : 鹿児島県薩摩川内市
■ 医療法人徳洲会 名瀬徳洲会病院	所在地 : 鹿児島県奄美市

【精神科】

■ 医療法人社団正慶会 栗田病院	所在地 : 神奈川県川崎市
■ 医療法人財団青山会福井記念病院	所在地 : 神奈川県三浦市
■ 都立松沢病院	所在地 : 東京都世田谷区
■ 日本医科大学附属病院	

【小児科】

■ 日本医科大学武藏小杉病院	所在地 : 神奈川県川崎市
■ 福島県立医科大学附属病院	所在地 : 福島県福島市
■ 済生会横浜市東部病院	所在地 : 神奈川県横浜市
■ 国際医療福祉大学熱海病院	所在地 : 静岡県熱海市
■ 新百合ヶ丘総合病院	所在地 : 神奈川県川崎市
■ 医療法人社団明芳会横浜旭中央総合病院	所在地 : 神奈川県横浜市

【産婦人科】

■ 日本医科大学武藏小杉病院	所在地 : 神奈川県川崎市
■ 福島県立医科大学附属病院	所在地 : 福島県福島市
■ 社会医療法人社団光仁会 総合守谷第一病院	所在地 : 茨城県守谷市
■ 伊東市民病院	所在地 : 静岡県伊東市
■ 新百合ヶ丘総合病院	所在地 : 神奈川県川崎市
■ 武藏野赤十字病院	所在地 : 東京都武藏野市

【救急】

■ 日本医科大学千葉北総病院	所在地 : 千葉県印西市
----------------	--------------

【保険・医療行政】

■ 幸正の苑	所在地 : 神奈川県川崎市
--------	---------------

2021年度 川崎幸病院臨床研修プログラム年間

1)

【 川崎幸病院臨床研修プログラム年間計画表 】

～2021年度以降の研修プログラムモデルの一例～

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
年次	1-4 週	5-8 週	9-12 週	13-16 週	17-20 週	21-24 週	25-28 週	29-32 週	33-36 週	37-40 週	41-44 週	45-48 週	49-52 週
1年次	内 科 腎臓内科 循環器内科 消化器内科 感染制御科					外 科		麻 醉 科		救 急 科		放 射 線 診 斷 科	
2年次	地域 一般外来	小児科 一般外来	産婦 人科	精神科	選択 1	選択 2	選択 3	選択 4	選択 5	選択 6	選択 7	選択 8	選択 9

《 研修内訳 》

- 週数 内科研修 24週 救急科 12週 外科研修 8週 麻酔科 8週
小児科 4週 産婦人科 4週 地域医療 4週 精神科 4週 放射線科 4週

- 内科は、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、感染制御科より選択とする。
- 選択枠は、当院の全診療科から選択可能とする。
- 必修研修の一般外来については、地域研修で並行研修とする。
- 救急当直2年間にて、救急1ヶ月とみなすが、原則は月単位ローテーションとする。。
- 研修プログラムについては、研修の進捗を考慮し、プログラム責任者と話し合いの上、決定する。

・2年間の研修科順番は例である。

- 指導医や症例が効率良く配分する様に、また協力型病院都合により調整する。結果として、2年間で上記期間の研修に相当する内容を実現することを目標とする。
- ・臨床研修で定められている救急部門の12週は、2年間の合計で12週間の救急科研修を全員必須とする。
(※2年間を通じて救急当直研修を行い、これをもって救急研修4週分を実施したこととみなす)
 - ・地域医療（一般内科並行研修）は薩摩川内市下甑手打診療所での離島研修、名瀬徳洲会病院での離島医療、又は、川崎幸クリニックにて在宅等を行う。
 - ・協力型病院での精神科・小児科（一般内科並行研修）・産婦人科研修は、施設により研修期間が1～12週となっているため、4週を超える分については選択科の期間を利用する。
 - ・選択科は川崎幸病院での内科・外科・救急・麻酔科研修の他に、協力型病院での小児科・産婦人科・精神科・救急科・地域医療研修から選択が可能。
 - ・CPCは川崎幸病院にて実施。

2) 研修目標と研修内容

一年次研修 厚生労働省の指針に基づく基本的臨床研修に重点を置く。

二年次研修 精神科・小児科・産婦人科及び地域医療を協力型病院、施設にて実施する。
また、基礎教育上不足していると思われる科を中心に、選択した科目を研修する

3) 研修医の勤務時間

午前8時30分より午後5時(ただし1週37.5時間とする)

休憩時間は60分。

当直は1名あたり月5回程度(当直明け休み)を予定しているが、研修医の能力等鑑み
隨時調整する。

4) 教育に関する行事

- ・オリエンテーション：石心会本部入職式および研修、川崎幸病院合同オリエンテーション、研修医オリエンテーションを行う。社会人としての心構え、電子カルテ、オーダリング、医療機器の操作方法等の習得を目的とした基礎を学び、臨床へとつなげる。
- ・研修医が属している各科の回診、カンファランス、抄読会に出席し、発表、報告する。
- ・病院全体の講習会、セミナー、CPC、委員会などに出席する。
- ・各学会、外部研修会等に参加出来る。

5) 指導体制

臨床研修部が設置されており、研修医の就業、研修、その他全般的に研修医の管理をする。

6) 研修評価方法-到達目標の達成度評価-（EV）

臨床研修の到達目標の達成度については、研修医は研修医手帳およびminimumEPOCに自己評価の入力を行う。指導医は研修分野・診療科のローテーション終了時に研修医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを用いて評価を行い、それを用いてさらに少なくとも半年に一回は研修医に形成的評価（フィードバック）を行う。評価のタイミングは、研修分野・診療科のローテーション終了時ごとに評価する。

必修診療科だけでなく選択診療科でも行う。指導医のみならず、研修医をとりまく他の医師、さまざまな医療スタッフが評価書となることが望ましい。結果は研修管理委員会で共有され、次の研修分野・診療科へ移る際には指導医間で評価結果を共有し、改善につなげる。

研修医の評価方法は研修医手帳およびインターネットを用いた評価システムminimumEPOCを活用し到達目標の達成度評価（研修医評価票、経験した症例／疾病・病態の記録、基本的な診療において必要な分野・領域などに関する研修の記録、件首位へのフィードバックの記録、到達目標の達成度判定票及び研修終了判定を登録する。必要に応じて、新療法・検査・手技等の記録・診療現場での評価、振り返り記録、講習会・研修会の受講歴、学術活動、その他の研修も登録を行う。

尚、研修履歴（研修期間／分野・診療科）は臨床研修部にて管理を行う。

7) プログラム修了の認定

各研修医から、到達目標が達成されたことを自己申告された研修管理委員会は、これを確認し、プログラム責任者に報告、承認を得た後、このプログラムを修了したことを記し「修了証」を授与する。

8) プログラム修了後のコース

新専門医制度に基づき研修を行うことが可能。

9) 研修医の待遇

身 分：常勤医

勤務時間・日数：午前8時30分から午後5時。4週8休を原則とする。

休憩時間60分

時間外勤務有り

当 直：5回/月程度（一人当直無し、当直明けあり）

宿 舎：あり（一部自己負担あり）

保 険：健康保険、厚生年金保健、雇用保険、労災保険

医師賠償責任保険は必須（個人加入）

給 与：給与は1年次 月額400,000円 2年次 月額450,000円

時間外手当・当直手当（当院規定による）

休 暇：有給休暇あり（医師就業規則による）、夏季、年末年始

その他特別休暇（結婚、忌引）

健 康 管 理：健康診断有り

病院内個室・机：研修医室有、収納ロッカーを用意

外部研修活動等：学会/研究会等への参加可（費用一部病院負担/上限あり）

そ の 他：アルバイト禁止

研修手帳有り、MinimumEPOC

10) 募集採用要項

応募資格：第115回医師国家試験を受験する予定の方

2021年4月より初期臨床研修を開始希望の方

定 員：10名

選考方法：面接

応募書類：履歴書（ホームページからダウンロードし入力後A4版で印刷）

身上書（ホームページからダウンロードし入力後A4版で印刷）

※1枚にまとめる必要はない）

成績証明書

卒業証明書（又は見込み証明書）

川崎幸病院概要

1. 所在地 〒212-0014

神奈川県川崎市幸区大宮町31-27

(電話 044-544-4611)

(FAX 044-541-0127)

2. 所轄保健所名

神奈川県川崎市幸保健所

3. 交通機関

① JR東海道線、京浜東北線 川崎駅下車 西口より徒歩8分

② JR南武線 尻手駅下車 徒歩12分

③ 京浜急行 京急川崎駅下車 徒歩13分

※川崎駅西口より病院行きシャトルバスあり。

4. 病床数

医療法承認病床 326床

5. 診療科

内科、外科、循環器内科、脳神経外科、大動脈外科、心臓外科、麻酔科、泌尿器科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、人工透析内科、消化器外科、内視鏡外科、腫瘍外科、肛門外科、乳腺外科、病理診断科、整形外科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、形成外科、呼吸器外科、婦人科、関節外科

6. 特色

平成10年9月に外来診療部門を「広い外来・快適な環境・待ち時間の短縮」をコンセプトに全科予約制・電子カルテを導入した『川崎幸クリニック』として分離独立しました。

これに伴い川崎幸病院では一般外来が無くなり、救急救命・検査・紹介入院を中心とした病院となりました。

近年病院建物が築40年近く経過し老朽化・狭隘化が顕著となり、平成24年6月に当法人の川崎幸病院中原分院(中原区62床)と統合し、川崎駅近に最新の設備とコンセプトをもって移転新築しました。同年9月、川崎市重症救急病床(61床)の指定を受け、入院病床数326床にて運営しています。

地域医療の要である救急医療と、それを支える高度医療を中心とした超急性期病院です。

(1) E.Rの充実

搬送先が見つからぬため現場滞在時間が30分以上になる重症患者の割合が、川崎市では全国政令指定都市の中で平成19年から連続してワースト1となっていました。

川崎南部地域にはたくさんの病院がありますが、実態としては救急患者を受け入れる医療機関が患者数に対し絶対的に不足しているという証です。

患者さんにとっては「明日まで待てない」「今どうしても診て欲しい」ということが救急であり、それが医療上救急かどうかは、実際に救急搬送され医師が診察しない限り判りません。従って「まずは救急を受ける」という姿勢が大事です。

このポリシーは旧病院の時からありました、新病院となりハードやスタッフが充実したことにより、救急車受入件数は飛躍的に伸びました。また、救急車を使わずに（ウォークイン）来院する急患も多く、総ての急患に対応することが求められます。

そこで、当院E Rでは専従の担当医師だけでなく、全科をあげてE R医師として対応する救急・総合診療部を立ち上げました。

(2) 高度医療

せっかく患者を受け入れても、診断・治療ができなければ意味がありません。

特に緊急性を要する心臓病・大動脈疾患・脳血管疾患（脳卒中）に対しては、循環器内科・大動脈外科・心臓外科・脳神経外科/脳血管内治療科・放射線I V R科、等のスタッフが緊急手術はもとより320例C Tや血管造影装置等を用い、最新の医療技術を駆使して治療にあたっています。救急隊とのホットラインによる速やかな救急患者受入れ体制を強化する一方、地域の専門医療機関としても広く認知されています。

更に新病院では、癌治療の三本柱である手術、化学療法、放射線治療がバランス良く提供できる体制も構築しました。

川崎大動脈センター、心臓病センター、脳血管センター、消化器病センター、放射線治療センター、泌尿器科レーザー治療センター、関節外科センターといった専門特化したセンター等にて、地域医療の要である救急医療を支える高度医療を展開しています。

(3) 入院機能

当院は救急患者を中心とした超急性期型の病院といえます。長期の医療・療養が必要とされる患者さんに対しては、その病態により適切な医療や介護の継続が維持できる病院や診療所・施設へ紹介できるよう専門のスタッフが対応しています。

入院機能では集中治療室（I C U）、冠疾患集中治療室（C C U）、大動脈集中治療室（A C U）、高度ケア室（H C U）、脳卒中集中管理室（S C U）等、重症病床を49床配置し、臓器別センター構想が戦略的に進められています。

また、一般病棟は入院基本料7：1を取得しています。更なる医療・看護体制の強化に向けて病院を挙げて取り組んでいます。

(4) 先進の手術

手術室10室（内、ハイブリッド手術室1）、血管内治療3室があり、各センターを中心に24時間緊急対応可能な設備とスタッフ体制を用意しています。

日本で一番の年間実績を有する大動脈手術をはじめ、開頭や開腹、整形手術はもちろん、肺や胆石の手術、胸や腹を大きく切らない胸腔鏡下・腹腔鏡下手術、脳卒中の治療として開頭を行わないカテーテルによる治療、泌尿器科領域でのレーザー治療等も積極的に行ってています。

(5) 地域支援病院と開放型病院

平成7年10月に地域の開業医に病院の施設や機能を開放し、病院の医師と共同で患者を診察する「開放型病院」システムを導入しました。このシステムを導入することにより地域の医療機関との連携が深まり地域医療の機能分担が促進され、医療効果の向上がはかれます。720名余りの登録医と連携し、入院患者の約3割は紹介患者となっています。これらの地域医療の実績を基に、平成25年3月には地域医療支援病院として承認されました。

医療理念のもとに、チーム医療・地域医療連携を要に急性期医療を担うと共に慢性疾患治療・在宅医療や介護・福祉へのバックアップを行い、さらには医療スタッフの教育・研修施設としての役割をも果たす、川崎南部地域における中核的な病院をとして、地域の皆様からより信頼される病院づくりを目指しています。

尚、平成12年に日本病院機能評価機構による認定を取得済みです。

7. 施設の概要

① 沿革

昭和 48 年 6 月	石心会川崎幸病院開院 病床 64 床
昭和 50 年 3 月	人工透析室開設
昭和 50 年 8 月	夜間透析開始
昭和 52 年 3 月	血友病の家庭療法（自己注射）に取り組む
昭和 54 年 10 月	南棟完成 人工透析室を南棟 2 階に移設
昭和 55 年 2 月	CAPD（持続外来腹膜透析）開始
昭和 55 年 11 月	「基準看護特Ⅱ類」承認許可
昭和 58 年 12 月	集中治療管理（ICU）を病棟内で開始
昭和 59 年 4 月	増床工事一部完成 ICU 移転
昭和 59 年 8 月	増床工事竣工 病床数 206 床
昭和 61 年 9 月	病床数 203 床に変更 循環器内科新設
昭和 63 年 4 月	脳神経外科医常勤化
平成 1 年 12 月	シネアンギオ室開設
平成 3 年 8 月	MR I 導入
平成 4 年 5 月	人工透析室を 10 床から 15 床へ増床
平成 5 年 7 月	大動脈外科新設
平成 6 年 8 月	「基準看護特Ⅲ類」承認許可
平成 7 年 10 月	「開放型病院」施設承認
平成 9 年 8 月	ヘリカル CT 導入
平成 10 年 5 月	新看護体系「2.5:1(A) 加算 看護補助 10:1」
平成 10 年 9 月	「川崎幸クリニック」として外来分離開設
平成 11 年 2 月	手術室 2 室から 3 室へ増改装
平成 12 年 11 月	日本病院機能評価機構「一般病棟種別B」認定
平成 13 年 11 月	「急性期特定病院」認定
平成 14 年 4 月	脳血管センター／心臓病センター開設
平成 15 年 7 月	大動脈センター開設
平成 17 年 4 月	救急部発足
平成 17 年 11 月	日本病院機能評価機構「一般病院 Ver. 5」再審査認定
平成 17 年 12 月	日本消化器内視鏡学会認定指導施設に認定
平成 18 年 1 月	日本救急医学会救急科専門医指定施設に認定
平成 18 年 4 月	看護基準「10:1」（旧基準 2:1 に相当）
平成 18 年 6 月	DPC 導入
平成 18 年 7 月	SCU 設置
平成 19 年 4 月	消化器病センター開設
平成 19 年 11 月	MD-CT 導入
平成 19 年 12 月	MR I 入替（1.5T）
平成 20 年 11 月	SCU 5 床へ増床、ACU (HCU) 12 床
平成 20 年 12 月	ICU 8 床へ増床
平成 21 年 11 月	社会医療法人認可取得
平成 22 年 7 月	看護基準「7:1」取得
平成 22 年 11 月	レーザー治療センター開設
平成 23 年 9・10 月	ハイケアユニット治療管理料加算取得（217・315 号室）
平成 23 年 11 月	日本病院機能評価機構「一般病院 Ver. 6」再審査認定
平成 24 年 6 月	川崎市幸区大宮町に新築移転／中原分院と統合し病床数 265 床に変更

平成24年 7月	放射線治療センターを新設、がんの放射線治療を開始
平成24年 9月	川崎市より「川崎市重症患者救急対応病院」の指定を受け、61床を加え326床に増床 救急・総合診療部を発足 大動脈センターを川崎大動脈センターに名称変更 東芝製320列高速MDCT（「Aquilion ONE」第2世代）をER内に設置
平成24年10月	ESWL（体外衝撃波尿路結石・胆石破碎術）治療を開始
平成25年 3月	地域医療支援病院に承認
平成27年11月	日本病院機能評価機構(3rdG:Ver.1.1)更新認定
平成29年 4月	低侵襲手術センターを開設
平成31年 4月	大動脈センター、心臓病センターの再編 関節病センター開設
令和 1年11月	整形・関節病センター新東京石心会さいわい鶴見病院移転

② 環境

川崎市全体の玄関口となっているJR川崎駅。その西口に広がる幸区（人口約16万人）にあり、鶴見区（人口約28万人）と隣接しています。川崎駅西口は近年再開発が行われており、

「音楽の町・川崎」をテーマにシンフォニーホール「ミューザ川崎」が、また西口から多摩川に向かう沿道には桜並木が続きTVロケ等でもよく使われる「ソリッドスクエア」がランドマークとなります。更に平成18年秋には約11万m²の商業/住宅ゾーンを持つ新しい町「ラゾーナ川崎プラザ」がオープンしました。

一方、都会の中にありながら自然にも恵まれ、幸区には南河原公園、そこに多摩川までの約1.2kmに渡って緑のトンネルが続く「さいわい緑道」があり四季を通じ木々や野鳥のさえずりを楽しむことができます。

川崎は江戸時代以前から宿場町として栄えた古い街で、新田義貞由来の矢向、太田道灌由来の夢見ヶ崎、等の名所もあります。また、高度経済成長時期には京浜工業地帯の中心地としても反映を重ねました。昨今は全国的な高齢化現象に漏れず、川崎周辺も高齢化が進行しているが、JR川崎駅より新幹線ターミナル駅の品川駅まで約10分、京急川崎駅より羽田空港まで約20分と利便性が良く、東京、横浜の中間ということもあり、近年ベッドタウンとしての再開発も顕著で、ニューファミリー世代（乳児～小児、30代～40代）の増加が特筆されます。ここ10年、そしてこれから10年、川崎駅西口側である幸区は大きく様変わりしていきます。そして川崎幸病院も、その再開発地区に次世代の医療機能を構築すべく、新築移転しました。

③ 敷地及び建物面積

- (1) 敷地面積 3,682m²
- (2) 建物面積 21,268m² 鉄筋コンクリート造（免震構造）11階建

8. 主要医療圏の状況

当院の診療圏は、神奈川県川崎南部第二次保健医療圏（川崎区、幸区、中原区の三区）にあります。幸区のほぼ全域の患者を対象とし、川崎区、中原区さらに、鶴見区、港北区、高津区も診療圏人口としております。

9. 診療実績

令和1年の主な診療実績（1月～12月）

外来患者来者数（/日）	103.7
救急車搬入台数（/年）	8,962
在院患者数（/日）	310.3
新規入院患者数（/月）	948.2
平均在院日数（/月）	10.0
手術件数（/年）	5,492
うち緊急手術件数	1,021

10. 医師研修施設認定

厚生労働省指定：臨床研修指定病院（基幹型）

日本内科学会認定医制度教育関連施設

日本外科学会専門医制度修練施設

日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設

日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本消化管学会胃腸科指導施設

日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

日本カプセル内視鏡学会認定指導施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本大腸肛門病学会認定施設

日本胆道学会認定指導医制度指導施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設

日本腎臓学会専門医制度認定施設

日本透析医学会認定施設

日本脳神経外科学会専門医訓練施設

日本脳卒中学会認定研修教育病院

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設

植込み型除細動器/ペーシングによる心不全治療認定施設

日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設

大動脈外科専門医認定機構認定基幹施設

胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設

腹部大動脈留ステントグラフト実施施設

日本ＩＶＲ学会専門医修練施設

日本脈管学会認定研修指定施設

下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設

日本整形外科学会専門医研修施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関

日本病理学会研修認定施設

日本麻醉科学会研修施設

大動脈麻酔専門医認定施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本形成外科学会教育関連施設

乳房再建用インプラント実施施設/乳房再建用エキスパンダー実施施設

日本栄養療法推進協議会N S T稼動施設
日本病態栄養学会認定栄養管理N S T実施施設
日本静脈経腸栄養学会N S T稼動施設
腹部救急認定医・教育医制度認定施設

11. 財団法人日本医療機能評価機構認定

平成12年11月 「一般病院種別B」(Ver. 3)認定
平成17年11月 「一般病院」(Ver. 5)再審査認定
平成22年11月 「一般病院」(Ver. 6)再審査認定
平成27年12月 「一般病院2」(3rdG : Ver. 1.1)再審査認定

12. 設備

許可病床数 326 床

内 ICU : 24 /SCU : 9 /HCU : 16 床 計 49 床

人工透析室 入院 15 床

手術室 10 室

13. 主要機器

MR I	SIGNA™ Architect 3.0T (GE)	1台
MR I	Ingenia 1.5T (フィリップス)	1台
C T	AquilionONE/VISION Edition 〈320列〉 (東芝)	1台
C T	Bright Speed ELITE 〈16列〉 (GE)	1台
放射線治療装置	Synergy (EL E K T A)	1台
大動脈撮影装置	InfinixCeleve8000V (東芝)	1台
大動脈撮影装置	Allura XperFD200R (フィリップス)	1台
全身用血管撮影装置	Artis ZeeBA Twin (シーメンス)	1台
ハイブリッド(血管撮影・手術)	Allura Xper FD20 (フィリップス)	1台
X線一般装置	RADspeed Pro (島津)	2台
X線テレビ装置	CUREVISTA (日立)	1台
結石破碎装置	Domier Delta II	1台
超音波診断装置		
各種内視鏡検査機器		
他		

14. 職員数

令和1年4月現在	1,072 名
医 師	122 名
看護師	552 名
コメディカル	189 名
薬剤部	32 名
事務その他	177 名